

## 名誉教授との懇談会

去る10月29日(金)17時から、赤門脇の学士会分館において、理学部恒例行事になっている名誉教授との懇談会が久城副学長ご出席のもとに開催された。懇談会は、27名の名誉教授の先生がご出席になり、学部からは、小林学部長、岩槻、益田両評議員等の関係者が出席した。懇談会は三浦事務長の開会に始まり、小林学部長から挨拶と近況報告があり、ついで記念撮影を行い、久城副学長の挨拶のあと、最長老の宮本梧桐先生のご発声による乾杯で懇談に入った。

懇談は、各先生方のご活躍の様子や、ユーモラスな思い出話、近況報告などがあり、終始なかなか雰囲気に包まれた。

また、地理惑星物理学専攻濱野洋三教授による「地球磁場逆転の起源」と題する講演がO.H.P.を使って行われ、名誉教授の先生から活発な質疑応答等があった。

最後に小林学部長の挨拶があって盛会のもとに終了した。

飯山敏道  
橋本英真  
坂田修一  
西島和孝  
後藤天  
佐々木五  
小崎三俊  
田丸謙二  
竹内慶夫  
古谷雅樹  
酒井和樹  
高橋雄一  
山本和雄  
寺山宏

平成五年十月二十九日  
学士会分館にて

小林俊一

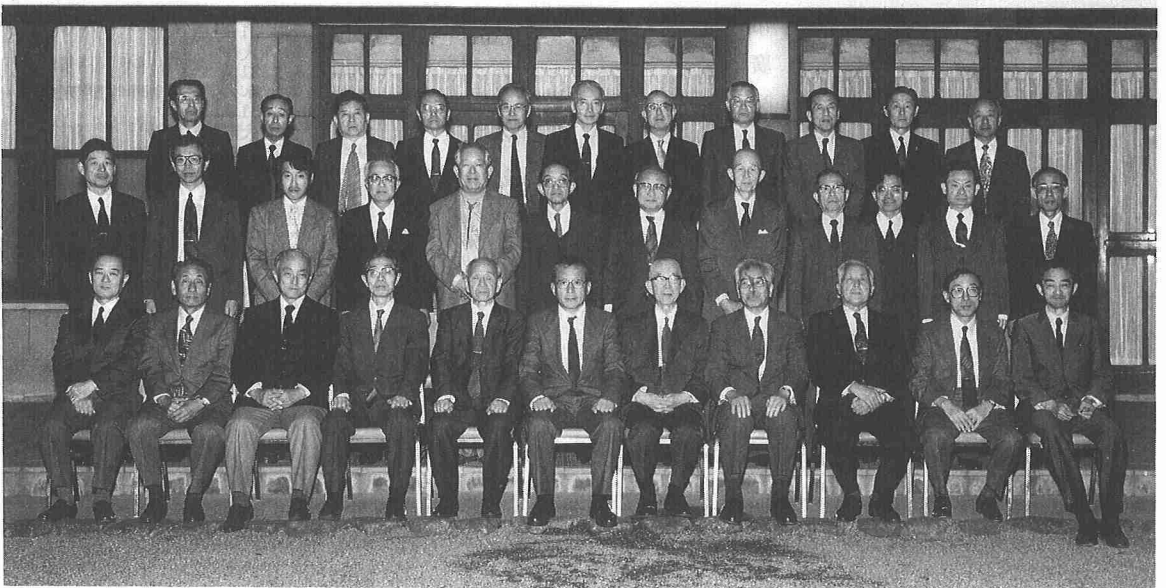
藤原清男  
大六正志  
高橋雄一

霜田光一

岩親 隆  
益田 成  
宮本 健部  
伊藤 清三  
山本 清晴  
上村 流  
鈴木 泰次  
和田 光  
藤野 洋三  
加藤 榮  
木原 敏  
宮本 梧桐

東京大学理学部名誉教授懇談会 平成5年10月29日 於：学士会分館

東京大学理学部名誉教授懇談会  
平成5.10.29 於：学士会分館



東京大学理学部名誉教授懇談会 平成5.10.29 於：学士会分館

# 人 事 異 動 報 告

(講師以上)

所 属	官 職	氏 名	発令年月日	異動内容	備 考
地 惑	教 授	深 尾 良 夫	5. 1. 1	併 任	本務：名古屋大学 期限：5.3.31まで
素 粒 子	〃	小 林 富 雄	5. 1.16	昇 任	助教授より
人 類	〃	平 井 百 樹	5. 2.16	〃	〃
化 学	助教授	村 田 道 雄	〃	〃	東北大学助手より
地 質	教 授	松 本 良	5. 3.16	〃	助教授より
地 理	講 師	松 本 淳	〃	〃	助手より
植 物	教 授	加 藤 栄	5. 3.31	停年退職	
地 理	〃	鈴 木 秀 夫	〃	〃	
情 報	〃	國 井 利 泰	〃	辞 職	(福島県立会津大学学長へ)
スペクトル	助教授	内 藤 周 弼	〃	〃	(神奈川大学へ)
物 理	〃	山 本 智	5. 4. 1	昇 任	名古屋大学助手より
化 学	講 師	田 島 裕 之	〃	〃	助手より
生物化学	〃	高 橋 孝 行	〃	〃	北海道大学教授へ
地 惑	教 授	国 分 征	〃	配 置 換	名古屋大学教授へ
〃	〃	熊 澤 峰 夫	〃	〃	〃
人 類	〃	尾 本 恵 市	〃	〃	国際日本文化研究センター教授へ
化 学	助教授	永 田 敬	〃	〃	教養学部助教授へ
天 文	教 授	小 平 桂 一	〃	併 任	本務：国立天文台 期限：6.3.31まで
〃	〃	宮 本 昌 典	〃	〃	〃
〃	〃	安 藤 裕 康	〃	〃	〃
人 類	〃	尾 本 恵 市	〃	〃	本務：国際日本文化研究センター 期限：6.3.31まで
素 粒 子	客 員 教 授	武 田 廣	〃	〃	本務：神戸大学 期限：6.3.31まで
〃	〃	清 水 韶 光	〃	〃	本務：高エネルギー物理学研究所 期限：6.3.31まで
〃	〃	竹 下 徹	〃	〃	本務：信州大学 期限：6.3.31まで
〃	〃	野 崎 光 昭	〃	〃	本務：神戸大学 期限：6.3.31まで
中 間 子	〃	前 川 禎 通	〃	〃	本務：名古屋大学 期限：6.3.31まで
〃	〃	上 村 正 康	〃	〃	本務：九州大学 期限：6.3.31まで
物 理	教 授	遠 山 濶 志	5. 4.16	昇 任	助教授より
物 理	〃	大 森 博 雄	5. 5. 1	〃	〃
地球惑星	〃	河 野 長	〃	配 置 換	東京工業大学教授より
〃	〃	飯 島 健	5. 5.16	昇 任	助教授より
植 物	助教授	大 矢 禎 一	〃	〃	助手より
地 質	〃	小 澤 一 仁	〃	〃	〃
スペクトル	〃	岡 本 裕 巳	〃	〃	化学専攻助手より
化 学	〃	岩 澤 伸 治	5. 6.16	〃	講師より
〃	〃	葉 袋 佳 孝	〃	〃	〃

所属	官職	氏名	発令年月日	異動内容	備考
化学	助教授	小林昭子	5.6.16	昇任	助手より
〃	講師	有賀哲也	5.7.1	〃	京都大学助教授へ
物理	助教授	須藤靖	〃	転任	京都大学助教授より
天文	教授	野本憲一	5.7.16	昇任	助教授より
動物	〃	大日方昂	5.8.1	併任	本務：千葉大学 期限：6.3.31まで
鉱物	〃	大隅一政	〃	〃	本務：高エネルギー物理学研究所 期限：6.3.31まで
情報	助教授	中島浩	〃	〃	本務：京都大学 期限：6.3.31まで
地球惑星	〃	山本達人	〃	〃	本務：宇宙科学研究所 期限：6.3.31まで
天文	〃	田中培生	5.8.16	昇任	天文学教育研究センター助手より
生物化学	講師	飯野雄一	〃	〃	助手より
地球惑星	助教授	中村正人	5.9.1	〃	宇宙科学研究所より
化学	教授	白川英樹	5.9.16	併任	本務：筑波大学 期限：6.3.31まで
物理	助教授	北谷英嗣	〃	〃	本務：長岡技術科学大学 期限：6.3.31まで
植物	教授	杉浦昌弘	5.10.1	〃	本務：名古屋大学 期限：6.3.31まで
地理	〃	福田正己	〃	〃	本務：北海道大学 期限：6.3.31まで
物理	助教授	川合光	〃	昇任	高エネルギー物理学研究所教授へ
天文	〃	柴橋博資	5.10.16	〃	助手より
物理	教授	三田一郎	5.11.1	併任	本務：名古屋大学 期限：6.3.31まで
天文	〃	蛭目信三	〃	〃	本務：国立天文台 期限：6.3.31まで
〃	助教授	井上允	〃	〃	本務：国立天文台 期限：6.3.31まで
植物	教授	渡邊昭	5.11.16	配置換	名古屋大学より
生物化学	助教授	田之倉優	5.12.16	昇任	講師より
物理	教授	十倉好紀	5.1.16	〃	助教授より
地質	〃	大本洋	〃	併任	本務：東北大
〃	講師	都河明子	〃	採用	留学生担当

(助手)

所属	官職	氏名	発令年月日	異動内容	備考
天文研	助手	吉田重臣	5.1.1	採用	
情報	〃	高田広章	〃	昇任	教務職員より
天文	〃	嶋作一大	5.2.1	採用	
情報	〃	加藤和彦	5.3.1	昇任	筑波大学講師へ
物理	〃	杉山直	5.3.3	休職	平7.3.2まで
〃	〃	家富洋	5.3.31	辞職	(民間研究所へ)
〃	〃	岸田隆	〃	〃	(理化学研究所へ)
〃	〃	佐川弘幸	〃	〃	(福島県立会津大学へ)
〃	〃	川島直輝	5.4.1	休職	平7.3.31まで
情報	〃	猪原茂和	〃	採用	
〃	〃	須田礼仁	〃	〃	
物理	〃	山田篤志	〃	〃	

所 属	官 職	氏 名	発令年月日	異動内容	備 考
物 理	助 手	伊 倉 貞 吉	5. 4. 1	採 用	
〃	〃	田 代 信	〃	〃	
〃	〃	八 木 隆 多	〃	〃	
〃	〃	羽 田 野 直 道	〃	〃	
〃	〃	尾 形 修 司	〃	〃	
〃	〃	三 沢 和 彦	〃	〃	
〃	〃	櫻 井 博 儀	〃	〃	
〃	〃	山 田 章 一	〃	〃	
化 学	〃	谷 川 勝 至	〃	〃	
動 物	〃	廣 野 雅 文	〃	〃	
〃	〃	佐 藤 恵 春	〃	〃	
地 質	〃	芦 寿 一 郎	〃	〃	
〃	〃	田 近 英 一	〃	〃	
〃	〃	遠 藤 一 佳	〃	〃	
中 間 子	〃	下 村 浩 一 郎	〃	昇 任	教務職員より
化 学	〃	横 山 利 彦	〃	転 任	広島大学より
物 理	〃	勝 本 信 吾	〃	昇 任	物性研究所助教授へ
〃	〃	吉 澤 雅 幸	〃	〃	東北大学助教授へ
地 質	〃	阿 部 勝 巳	〃	〃	静岡大学助教授へ
物 理	〃	白 橋 明 弘	5. 4. 16	採 用	
植 物	〃	上 園 幸 史	5. 5. 1	〃	
生物化学	〃	西 田 栄 介	〃	昇 任	京都大学教授へ
天 文 研	〃	青 木 勉	5. 5. 16	配 置 換	技官より
〃	〃	征 矢 野 隆 夫	〃	〃	〃
生物化学	〃	森 脇 博 子	5. 6. 30	辞 職	
物 理	〃	溝 川 貴 司	5. 7. 1	採 用	
化 学	〃	山 田 康 洋	〃	〃	
物 理	〃	生 天 目 博 文	〃	昇 任	広島大学助教授へ
〃	〃	水 崎 高 浩	5. 7. 5	採 用	
〃	〃	篠 原 俊 二 郎	5. 8. 1	昇 任	九州大学助教授へ
地 殻 化 学	〃	五 十 嵐 丈 二	〃	〃	広島大学助教授へ
〃	〃	大 野 正 夫	5. 9. 1	採 用	
物 理	〃	杉 之 原 立 史	5. 10. 1	〃	
情 報	〃	松 岡 聡	〃	昇 任	工学部講師へ
化 学	〃	茅 田 博 一	〃	転 任	郵政省通信総合研究所へ
情 報 科 学	〃	小 林 直 樹	5. 11. 16	採 用	
化 学	〃	島 田 敏 宏	5. 12. 1	〃	
地 質	〃	金 川 久 一	〃	昇 任	千葉大学助教授へ

## (職員)

所属	官職	氏名	発令年月日	異動内容	備考
事務部	事務長	大六正志	5. 3.31	定年退職	
〃	事務長補佐 (総務担当)	川口鴻暁	〃	〃	
植物園 地理部	事務主任	高柳英俊	〃	〃	
〃	〃	鎌滝道子	〃	〃	
〃	事務官	高野稔	〃	辞職	(放送大学学園総務部調査管理課へ)
〃	学務主任	石崎雄三	5. 4. 1	配置換	工学部教務課教務主任へ
〃	図書掛長	佐々木久子	〃	〃	経済学部資料掛長へ
〃	施設掛長	中島一雄	〃	〃	施設部企画課管理掛長へ
〃	経理掛主任	渡辺和子	〃	〃	医科学研究所研究助成掛主任へ
〃	用度掛主任	西澤明生	〃	転任	信州大学教育学部会計係主任へ
情報	事務室主任	齊藤岳己	〃	昇任	地震研究所管理掛長へ
〃	事務官	入吉修	〃	転任	静岡大学経理部主計課へ
物理	〃	相川光子	〃	配置換	教養学部図書課へ
人類	〃	小黒美穂子	〃	〃	農学部図書館へ
事務部	事務長	三浦俊暁	〃	〃	法学部事務長より
〃	事務長補佐 (総務担当)	菊地文男	〃	〃	国立歴史民俗博物館管理部展示課専門官より
〃	学務主任	大日方鐵機	〃	〃	庶務部留学生課専門職員より
植物園	事務主任	矢内敏明	〃	〃	生産技術研究所経理課研究協力掛長より
事務部	図書掛長	西山常清	〃	採用	(放送大学学園教務部図書課図書第二係長より)
〃	施設掛長	杉浦康之	〃	配置換	医学部附属病院管理課機械掛長より
地理部	事務主任	宮崎節子	〃	昇任	生物化学科事務室主任より
〃	経理掛主任	堀越悦子	〃	配置換	施設部企画課庶務掛主任より
情報	事務室主任	小山久美子	〃	〃	事務部用度掛主任より
化学	〃	新藤美子	〃	昇任	化学科より
人類	〃	塩谷祥子	〃	〃	生物学科人類学教室より
事務部	事務官	矢崎力太	〃	転任	文部省教育助成局施設助成課より
〃	〃	川崎伸一	〃	配置換	医学部附属病院医事課より
〃	〃	山本太	〃	採用	
〃	〃	磯田寛	〃	〃	
〃	技官	大河史彦	〃	配置換	施設部建築課より
〃	教務職員	小澤みどり	〃	採用	
物理	事務官	谷口順子	〃	配置換	社会情報研究所より
人類	〃	西野明子	〃	採用	
事務部	技官	白井論	5. 5.31	辞職	
物理	事務官	常行晴美	5. 9. 2	育児休業	6.7.6まで
〃	〃	高橋夏実	5. 9.16	辞職	
〃	〃	高野由美子	5.10. 3	職務復帰	育児休業より
〃	〃	中丸典子	5.10.11	〃	〃
事務部	技官	長谷川洋	5.11. 1	採用	

## 博士（理学）学位授与者

### 平成5年1月25日（月）付学位授与者（3名）

種別	専攻	氏名	論文題目
課程博士	地球物理学	李 新 元	海盆の熱的進化史及び南シナ海への適用
論文博士	情報科学	佐藤 健	選好に基づく推論の解釈の順序による論理的定式化
課程博士	生物化学	後藤 聡	キイロショウジョウバエ成虫原基で発現するエンハンサートラップ系統の分離

### 平成5年2月22日（月）付学位授与者（8名）

種別	専攻	氏名	論文題目
課程博士	物理学	島津 佳弘	REPUTE-1 逆転磁場ピンチプラズマにおける軟 X 線及び磁場の揺動の実験的研究
論文博士	地質学	長谷川 修一	中央構造沿いの大規模岩盤すべりと第四紀断層運動
論文博士	地球物理学	小川 康雄	広帯域 MT 法によって明らかにされた深部地殻比抵抗構造—東北および北海道地域
論文博士	天文学	芝井 広	気球赤外線望遠鏡による大局的 (C II) 放射の観測的研究
論文博士	地球物理学	巽 保夫	局地領域大気数値モデルの研究
論文博士	化学	泉 康雄	担持金属クラスター触媒の活性構造と多核反応機構に関する研究
論文博士	化学	柴藤 貴文	触媒作用における共吸着効果に関する赤外分光法による研究
論文博士	化学	大西 洋	金属酸化物の単結晶表面における化学吸着と反応過程

### 平成5年3月15日（月）付学位授与者（17名）

種別	専攻	氏名	論文題目
論文博士	情報科学	龍田 真	構成的プログラミングのための帰納約定義の実現可能性
論文博士	天文学	土居 守	かみのけ座銀河団の構造と銀河の環境効果の研究
論文博士	天文学	山岡 均	Ia 型超新星の理論的モデルとハッブル定数
論文博士	地球物理学	藤 浩明	海底電磁気観測により明らかにされた伊豆・小笠原弧の電気伝導度構造
論文博士	地球物理学	永田 雅	日本海寒帯気団収束帯帯状雲とこれに沿って発達するメソβスケールの渦列の数値的研究
論文博士	化学	美齊津 文典	質量分析法による分子クラスターからのイオン生成と安定性
論文博士	化学	角田 敦	フタロシアニン及びブチリル系化合物の接合における光導電機構に関する研究
論文博士	動物学	石島 早苗	X, Y 精子の同定法に関する研究
論文博士	植物学	中山 克己	緑藻オオハネモの系II集光性クロロフィル a/b 蛋白質複合体の色素組成と励起エネルギー移動

種別	専攻	氏名	論文題目
論文博士	地質学	東洋一	手取層群の白亜紀前期恐竜印跡動物群とその古環境変遷
論文博士	地質学	鈴木直樹	脊椎動物の陸上進出に伴う四肢・心臓の形態変化と機能の進化
論文博士	鉱物学	岩黒弘明	H <sub>2</sub> プラズマ処理により障壁高を高めた Al/n 型 (100) Si ショットキーダイオードの界面層
論文博士	鉱物学	高橋捷一	超伝導磁石を用いた水平方向磁界下でのチョクラルスキー法育成シリコン単結晶中の格子間酸素の成長軸方向分布について
課程博士	化学	村主学	STM による塩素吸着した Si (111) 7 × 7 表面の紫外レーザーエッチングの研究
課程博士	生物化学	佐藤健人	T 細胞レセプター・トランスジェニックマウスの作製と解析
課程博士	地理学	島津弘	粒径分布からみた日本の山地河川の類型化とその成因
課程博士	科学史・科学基礎論	王清翔	日本における中国宋元数学の受容－関孝和の数学の中国的ルーツ－

#### 平成5年4月26日(月)付学位授与者(10名)

種別	専攻	氏名	論文題目
論文博士	化学	今関昌治	ゲスト・ホスト型液晶組成物における分子配向の研究
論文博士	化学	都筑誠二	ab initio分子軌道法計算を利用した力場パラメータの最適化に関する研究
論文博士	物理学	好村滋行	膜面の統計力学
論文博士	天文学	橋本修	晩期型巨星の星周ダストエンベロープ
論文博士	地球惑星物理学	宇平幸一	火山現象によって励起された長周期地震波の震源過程の研究
論文博士	地球惑星物理学	児玉安正	地球大気 of 亜熱帯降水帯の大規模な特徴
論文博士	地球惑星物理学	升本順夫	西部熱帯太平洋の大規模な大気・海洋相互作用の研究
論文博士	化学	多田博一	分子線エピタキシー法により作製した有機超薄膜に関する研究
論文博士	化学	上野啓司	層状物質のヘテロエピタキシャル成長に関する研究
課程博士	化学	安藤淳	酸化物超電導体の表面物性に関する研究

#### 平成5年5月24日(月)付学位授与者(3名)

種別	専攻	氏名	論文題目
論文博士	物理学	根城均	液晶分子を通過するトンネリング機構の走査トンネル顕微鏡による研究
論文博士	物理学	古崎昭	ラッテインジャー液体におけるトンネル効果
論文博士	地理学	佐藤哲夫	アジアの稲作地域におけるファーミングシステムの地理学的研究

#### 平成5年6月28日(月)付学位授与者(4名)

種別	専攻	氏名	論文題目
論文博士	地理学	山本健兒	現代ドイツにおける企業の立地行動
論文博士	相関理化学	矢田俊量	ニワトリ胚 IX コラーゲンの構造と機能に関する研究

種別	専攻	氏名	論文題目
課程博士	相関理化学	片桐秀樹	光解離におけるスピン-軌道相互作用の研究
課程博士	地質学	清川昌一	オーストラリア、北西ビルバラクラトンにおける太古代中期グリーンストーン帯の層序と構造発達史

平成5年7月19日(月)付学位授与者(2名)

種別	専攻	氏名	論文題目
論文博士	情報科学	松岡 総	並列オブジェクト指向言語における拡張性と再利用のための言語機構
論文博士	鉱物学	飯塚 隆	シリコン結晶の機械的損傷について

平成5年9月20日(月)付学位授与者(3名)

種別	専攻	氏名	論文題目
論文博士	植物学	高野博嘉	真正粘菌のミトコンドリアの融合とゲノムの再構成を誘起するミトコンドリアプラスミドの解析
論文博士	相関理化学	西澤 治	プラスチドのアシル-アシルキャリアプロテイン:グリセロール-3-リン酸アシルトランスフェラーゼのcDNAの単離および遺伝子操作によるタバコの低温感受性の転換
課程博士	植物学	佐藤典裕	緑藻クラミドモナスの葉緑体脂質代謝異常変異株の単離とその生理生化学的解析

平成5年9月30日(木)付学位授与者(6名)

種別	専攻	氏名	論文題目
課程博士	物理学	隅野行成	Threshold 近傍におけるトップ・クォーク対生成過程
課程博士	物理学	マクンディイスマイル レザリオ	酸素モノレイヤーの構造および磁気相転移の研究
課程博士	地球惑星 物理学	陳 光 斉	地殻変動及び応力場の研究 - SRM と BEM を組み合わせたモデリング
課程博士	生物化学	孔 光 勲	グルタチオンS-トランスフェラーゼの構造・機能相関の研究
課程博士	植物学	スリボンマ ドアンチャイ	リュウキュウハング属の分類学的研究
課程博士	鉱物学	張 文 杰	$\text{La}_2\text{NiO}_{4+\delta}$ と $\text{Y}_2\text{Cu}_2\text{O}_5$ の単結晶育成、結晶構造及び物性の研究

平成5年10月25日(月)付学位授与者(8名)

種別	専攻	氏名	論文題目
論文博士	物理学	池上 敬一	N-ドコシルビリジニウム-ビステトラシアノキノジメタンのラングミュア-プロジェクト膜における擬一次的なスピン系の研究
論文博士	物理学	重川直輝	化合物半導体ヘテロ構造における強電場中の輸送特性の研究



種別	専攻	氏名	論文題目
論文博士	化学	三好徳和	ヨウ化サマリウム(II)を用いる位置および立体選択的炭素-炭素結合生成反応の開発
論文博士	化学	松橋泰典	スタナンチオン及びスタナンセロンの生成と反応
論文博士	生物化学	飯田章博	大腸菌K-2株におけるD-リボースの輸送と代謝に関与する遺伝子の構造と機能
課程博士	物理学	岡井正志	ディラントンブラックホールの厳密解
課程博士	物理学	河江達也	狭い空間内の超流動 <sup>3</sup> HeのA-B転移
課程博士	化学	高衛	高分解能電子エネルギー損失分光による表面フォノンの研究

平成5年11月22日(月)付学位授与者(2名)

種別	専攻	氏名	論文題目
論文博士	地球惑星物理学	高藪緑	熱帯太平洋における積雲対流活動の組織化
課程博士	物理学	羽澄昌史	重心系エネルギー300GeVの電子・陽子衝突におけるスカラー及びベクターレプトクォークの探索

平成5年11月30日(火)付学位授与者(1名)

種別	専攻	氏名	論文題目
課程博士	化学	島田敏宏	ファンデルワールス界面の作成・構造・物性に関する研究

平成5年12月20日(月)付学位授与者(4名)

種別	専攻	氏名	論文題目
論文博士	情報化学	磯田安宏	ソフトウェア開発環境の技術的および管理的側面に関する研究
論文博士	相関理化学	藤谷秀章	金属シリサイド/シリコン界面に於ける電子構造の理論的研究
課程博士	物理学	渡邊康	ミュオン移行反応及びミュオン触媒核融合におけるX線の研究
課程博士	地球惑星物理学	山中佳子	沈み込むスラブ内応力の統一的解釈

平成5年12月28日(火)付学位授与者(1名)(修業年限の特例)

種別	専攻	氏名	論文題目
課程博士	物理学	石原諭	電弱理論のボゾンセクターの新しい相互作用の低エネルギー効果

## 東海地震の発生予知に伴う警戒宣言発令時等の対応

大学院理学系研究科・理学部防災委員会では、東海地震の発生予知に伴う「警戒宣言発令時」等を想定して、その対応について次のとおり定め、1月19日開催の教授会で承認されました。ついては、理学系研究科・理学部における教職員、大学院及び学部学生のすべての方に、「警戒宣言発令時」等における、取るべき行動について再確認するとともに、「警戒宣言発令時」には冷静に行動されるようお願いいたします。

なお、今後「防災マニュアル」等を作成し、更に周知の徹底を図る予定でありますので、ご協力をお願いいたします。

### 大学院理学系研究科・理学部における警戒宣言発令時等の対応について

(平成6年1月19日教授会承認)

いわゆる東海地震の発生が予知されると、一定の手続きを経て警戒宣言が発令されることになっている。東京都は、地震防災対策強化地域に含まれてはいないが、東海地震が発生すると東京近辺の震度は5程度になると予想されるため、全面的に警戒体制がとられることになる。また、警戒宣言発令の前には「地震防災対策強化地域判定会」の各委員が召集され、その情報は判定会が召集されて30分後に、テレビ、ラジオを通じて一斉に報道される。そして判定会が開催され、地震発生の可能性が高いと判定されると内閣総理大臣から「警戒宣言」が発令され、「大規模地震対策特別措置法」にもとづいて、さまざまな応急防災対策が措置される。本大学院理学系研究科・理学部においても、判定会招集が公表された時点および警戒宣言発令時においてとらなければならない措置は、以下のとおりである。

1. 「判定会」召集が公表された時点での措置
  - 1) 大学院理学系研究科・理学部災害対策部の設置準備
  - 2) 立入禁止区域管理状況の把握、防災諸施設・設備の点検、化学薬品・その他の危険物に対する安全確認
  - 3) 火気の始末、ロッカー・書棚等の転倒防止
  - 4) 教室・実験室等での講義・実験の中止の準備
  - 5) 職員・学生等への周知徹底（職員及び学生には大学院理学系研究科長・理学部長の指示を待つよう伝え、その他の者には帰宅するよう指示する。）
  - 6) 遠隔地施設との連絡
  - 7) その他大学院理学系研究科長・理学部長が必要として認める措置
2. 「警戒宣言」発令時の措置
  - 1) 大学院理学系研究科・理学部災害対策部を理学部長室に設置
  - 2) 立入禁止区域の管理状況の把握、防災諸施設・設備の点検、化学薬品・その他の危険物に対する安全確認
  - 3) 火気の始末、ロッカー・書棚等の転倒防止
  - 4) 教室・実験室等での講義・実験中止の指示
  - 5) 職員・学生等への周知徹底（職員及び学生には、大学院理学系研究科長・理学部長の指示を待つよう伝え、その他の者には帰宅するよう指示する。）及び学生の課外活動の中止の指示
  - 6) 遠隔地施設との連絡

- 7) 学生への帰宅指示、ならびに防災その他大学院理学系研究科・理学部の管理運営上、必要と認める職員以外の職員の時差退庁の指示  
但し交通機関等の混雑が予想されるので、指示にあたっては、職員・学生には時差をつける等して退庁、帰宅させるよう配慮するものとする。
- 8) その他大学院理学系研究科長・理学部長が必要として認める措置
3. 「判定会」召集の公表及び「警戒宣言」が夜間、休日等勤務時間外に発せられた場合の対応措置
- 1) あらかじめ、大学院理学系研究科・理学部として防災管理要員及びその他の要員を定めておき、この要員は「判定会」召集の公表があった時点で出来る限り出勤するものとする。  
防災管理要員の選定基準は、原則として徒歩通勤者（自転車等による通勤者を含む。）で通勤距離が概ね3キロ程度の範囲内に居住する職員から、大学院理学系研究科長・理学部長が適当と認める者とする。  
また、その発令時等に研究等で本学部に在室している職員は、防災管理補助要員として、その対応に当たるものとする。
- 2) 出勤した要員は、基本的に1、2の要項に準じて対策を実施するものとする。
- 3) 以上のための緊急時の電話連絡網、防災管理員のうち近距離通勤者名簿、緊急時の宿日直の心得等を大学院理学系研究科・理学部として準備しておく必要がある。
4. 「警戒宣言」等解除後の措置  
大学院理学系研究科・理学部災害対策部は非常時防災体制を解き、可及的速やかに平常時の体制に復帰するよう努めるものとし、被害状況その他必要と認められる事項について災害対策本部に報告するものとする。  
なお、「警戒宣言」解除後の職員の職場復帰の取扱いについては、原則として交通機関の運転再開状況等を勘案して出勤するものとする。
5. その他（大地震が発生した場合の心得等）
- 1) 室内にいて火気を使用中の場合は、直ちに安全措置を講じ、部屋の出入口扉を開け、速やかに机の下等に身体（特に頭部）を隠す。
- 2) 廊下を通行中の場合は、壁の近くに身を寄せ、安全に注意する。  
渡り廊下又は階段を通行中の場合は、速やかにそこから離れ、近くの安全な場所に退避する。
- 3) 講義室等で授業中の場合は、部屋の出入口扉を開け、速やかに机の下等に身体（特に頭部）を隠す。
- 4) 屋外にいる場合は、速やかに建物、高い壁、高い斜面、橋、階段又は厚い盛土・埋立地等から離れ、最寄りの幹線避難路で身の安全を守る。
- 5) 学内を車で走行中の場合は、周囲の安全を確認の上、道路左端に停車し（必ずサイドブレーキをかけること。）、歩行者に準じて身の安全を守る。
- 以上の後、地震の揺れがおさまったら周囲の安全を確かめながら、なるべく幹線避難路を通り、速やかに避難場所に避難し、互いの安全を確認した後、そこの指示に従う。  
（帰宅可能者と帰宅不可能者の確認を行う。）